

教育方針（学校経営ビジョン）

（１）経営理念 「児童も教師も みんなが『元気』 みんなで『伸びる』」

明治5年に創立。150余年の歴史と伝統を持つ本校は、地域に支えられながら、学校の役割を果たし続けてきた「名門」である。

今、急激に変化する時代の中にあって、一人一人の児童が豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる資質・能力を育むことは、令和の学校教育の目標である。学校の役割は、全ての児童の知・徳・体を一体的に育むため、「学びの保障」「全人的な成長の保障」「安心安全の保障」を果たしていくことであると考えます。

全ての児童が、安心安全を土台として、主体的・自立的に学んだり、先生や仲間たちと協働して取り組んだりできる、「伸び伸びと過ごせる楽しい学校」を創っていきたいと考える。

そのために、「児童も教師も みんなが『元気』 みんなで『伸びる』」を経営理念とする。

児童、保護者、地域、社会からの期待や要請を真摯に受け止め、また、連携・協働しながら、教職員一丸となって、「名門」の前進に努めていきたい。

（２）教育目標 「自ら学び、心豊かで、たくましい児童の育成 ～みんな元気な学校～」

全ての児童の知・徳・体を一体的に育む教育を通して、

- ・確かな学力を身に付けた児童の育成（資質・能力の三つの柱）
- ・心豊かで共に生きる喜びの持てる児童の育成（豊かな人間性と社会性）
- ・健やかな心身を持つ児童の育成（心身の健康と体力）

を目指し、学習や生活、行事に元気よく取り組めるようにする。

（３）目指す姿

① 目指す児童像

- | |
|-----------------------------|
| ア みずから 考える子（知性） |
| ・主体的に学習に取り組み、基礎・基本を身に付けていく子 |
| ・よく考え、表し、学び合う子 |
| イ やさしく 思いやりのある子（感性） |
| ・相手の気持ちを考えて行動する子 |
| ・人、物事、ふるさとのよさを感じ表現できる子 |
| ウ ちからいっぱい 活動する子（健康） |
| ・自他の生命・健康を大切にし、心と体を鍛える子 |
| ・目標達成に向けて、たくましく粘り強くやり抜く子 |

② 目指す教職員像

- | |
|----------------------------------|
| ア 温かさと情熱を持ち、職責を果たす教職員 |
| イ 児童の成長と幸せのために、指導力の向上に努める教職員 |
| ウ 積極的に関わり、児童、保護者、地域、同僚から信頼される教職員 |

(4) 本年度の重点目標と達成のための取組 (◎は最重点取組 ◇は元気P各学期のテーマ)

① 確かな学力の育成

ア 学習集団と学びの土台作り

- ・落ち着いて学ぶ集団とするための規律と学び方指導
- ・全力で学ぶ集団とするための鍛えと励まし
- ・全員参加のための見取りと働きかけ

イ ねらいの達成・変容・伸びへの注目

- ・「分かった、できた、考えられた」を実感する楽しく実態に合った授業
- ・個の学びを深める他者との協力、学び合いの充実
- ・ねらいの達成、変容や伸びを自覚させる、個に応じた指導の充実
(授業後半の充実による「深い学び」の実現)

ウ 子ども主体の授業の前進 ◇しなやかさ

- ◎「子ども主体」の前進、松小スタンダード学習の本物化
- ・目標達成のための、児童による1人1台端末の効果的な活用

エ 協働的問題解決力の育成 (カリマネの柱)

- ・探究の過程を意識した、各教科・総合的な学習の時間の授業改善
- ・考えを出し合い、力を合わせて創り上げる協働的な学びの充実
- ・能力の発揮を意図した魅力ある探究活動の創造 (カリ・マネの充実)

オ 組織的な学力・授業力向上

- ・適切な学力分析による課題の明確化と具体的な改善策の立案
- ・若い教師が育つ「分かりやすく、元気の出る」学校研究
- ・計画的な補充学習と学習習慣を身に付けるための工夫

② 豊かな心の育成

ア 感性を豊かにするジオ育・読育・食育

- ◎体験・探究・発信で深めるジオ学習
- ・感じて表現する力 (ひらめき) を育む読書活動・俳句づくり活動
- ◎食べることは生きることを知る食育

イ 自己指導能力を育む生徒指導 ◇さわやかさ

- ・基本的な生活のルールやマナーを身に付けるための丁寧で粘り強い指導
- ・自己存在感や自己有用感を育むための「認め・褒め・伸ばす」指導
- ・自ら考えよりよく決める、自己決定の場の保障

ウ よりよい人間関係を育む学級経営

- ・確かな児童理解と積極的・共感的な関わりによる児童との信頼関係の構築
- ・互いのよさを認め合い自己に取り入れようとする、友達を大切する学級づくり
- ・安心・安全な風土と明るく・温かく・前向きな文化のある学級づくり

エ 道徳教育の充実

- ・「考え、議論する道徳」を意識した、心に響く道徳の授業
- ・特別活動や各教科との関連を生かした、重点「思いやり」の育成

オ 特別支援教育の充実

- ・特支コを中心とした支援体制の構築及び適切な支援策の充実
- ・校内委員会や研修会による児童の共通理解、関わり方や指導法の共有
- ・個別の支援計画 (支援シート) を活用した取組の定期的な検証と見直し

カ いじめ・不登校の未然防止、早期発見、早期解決

- ◎安心安全で楽しい学校づくりの工夫（松小元気プロジェクト2.6）不登校未然防止
 - ・いじめ問題対策チームを核とした適切な認知と迅速で丁寧な組織的対応
 - ・不登校（傾向）児童に対する保護者・関係機関と連携した組織的な支援

③ 健やかな体の育成

ア GRITの育成 ◇たくましさ

- ・目標達成に向けて粘り強くやり抜く力「GRIT」を育む取組の充実
- ・運動に親しみ技能を身に付ける、楽しい体育の授業の充実

イ 心身の健康の保持増進と安全の確保

- ・養護教諭や栄養教諭をリーダーとした、命・健康の大切さを考える指導・環境の充実
- ・防災教育、交通安全教育、防犯教育の計画的な実施

(5) 目指す学校組織のあり方（☆は組織改革の最重点）

① 組織的、機動的な学校運営

ア 主任・主事等との連携

- ・コミュニケーションの活性化とビジョンの浸透
- ・提案やアイデアの尊重、実践へのバックアップ
- ・各種会議の機能化及び報連相の徹底

イ チーム松小のさらなる充実

- ・ベクトルをそろえる共通実践・共通行動とその検証の充実
- ・「ワイガヤ職場」の推奨、学び合う学年会・若プロの推進
- ・子どもに誇れる「さわやかな挨拶」の励行
- ・次期学習指導要領を見据えた学習と準備

② 家庭・地域・関係機関との連携

ア 教育活動の公開、情報の発信

- ・PTAとの協力による、授業や学校行事の積極的な公開
- ・各種お便り、HPの内容の充実

イ 地域教育力・専門性の活用

- ☆コミュニティ・スクールとしてのさらなる前進・浸透（熟議・学校ボラ・地域貢献）
- ・教育委員会、教育センター、子ども総合相談室、高等学校、特別支援学校等との連携
- ・発達の連続性を踏まえた幼保小及び小中連携

ウ 保護者・地域の声を生かした学校づくり

- ・真摯に受け止め、親身に対応、前向きに改善

③ 教員の働き方改革・業務改善の推進

ア 教職員の元気とゆとり（余裕・余白の創出）

- ・自己の健康・業務管理の意識の向上、改善への参画、働きがいの追求
- ☆業務の平準化・効率化、日課・教育課程の改善、計画的な授業カットの実施